


1 実践の概要

テーマ	「水害に備える取組」
外部指導者	湯沢河川国道事務所流域治水課 課長 穂積 薫 氏
実施日時	令和7年6月27日（金） 午後1時20分から2時20分まで
実施場所	大仙市立西仙北中学校
参加者	生徒 129名 職員 22名 保護者 20名 地域住民 5名

2 実践内容

講演や演習等の様子	<p>防災講話 演題「水害に備える取組」</p> <p>【所感】 P T A主催の防災講話に地域の方も参加し、地域全体で危機意識を共有することができていた。</p> 
-----------	--

3 参加者の感想

生徒	私は講演を聞き、大丈夫だろうと思っても避難することの大切さを感じました。表やグラフを見てみると「ここは大丈夫」と思い、避難していない人が多かったからです。また、刈和野は堤防が切れると1時間で1～2mの水深になることを知りませんでした。私の家の近くには雄物川の支流があるので気を付けたいです。洪水時は誘われても川のそばに近寄らないようにしたいです。
教職員	中学生ができる防災への取組としてネット上に公開されている防災情報を確認し、家族や地域の方に伝えるというものを紹介していただいた。天気予報のサイトやアプリよりも詳細な情報がネット上や専用アプリで公開されていることを教えていただいた。それらの情報を得て、判断し、積極的に行動できる生徒を育てていきたいものだと思った。
保護者	数年前の水害の際に近所の方に「ここは低い土地だから避難したほうがいい」と声をかけてもらい、近くの避難所へ避難しました。予想よりも浸水がひどく、助かりました。今日、お話をいただいた「共助」あるいは「互助」の大切さを感じた経験でした。これからも地域が協力して災害を防ぎ、安全・安心な街づくりを進めていきたいと思えます。